



高齢者にやさしい地域づくりの推進を！

湖南省公明党議員団 ● 細川 ゆかり 議員

認知症対策の推進を！

問 「認知症初期集中支援チーム」設置状況。

答 このチームは、医療と介護の専門職と専門医で構成し、認知症が疑われる人や認知症の人およびその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行います。

市では、今年4月から設置します。

問 「湖南省おかえりネットワーク」とは。

答 「おかえりネットワーク」は、行方不明になる可能性のある方の情報を事前に登録しておき、行方不明時にタウンメールを使ってその情報を発信し、早期発見につなげようとするものです。直接、発見に結びついた事例もあり、早期発見の手立ての一つとして有効であると考えます。

高齢者ボランティア導入の推進を！

問 高齢者の社会参加や地域貢献を奨励し、高齢者自身の介護予防を促進するとともに元気な高齢者が暮らす地域社会づくりにつなげるとして期待される、高齢者ボランティアポイント制度の導入は。

答 ポイント制度を作ることで、ボランティアを必要とする内容や場所、ボランティアできる人とその内容を集約し、効率よく活動を展開させることにもつながりますし、支えあいのまちづくりを進めるためのツールのひとつとして、社会福祉協議会なども協議しながら研究・検討していきたいと考えています。



市内の交通手段と大谷T字路の安全について

無党派 ● 藤川 みゆき 議員



問 住民の移動手段としてのコミュニティバスの在り方の認識は。

答 路線の変更など利用促進の様々な試みをしてきたが輸送人員の増加に結びついていません。今後は地域住民主体の地域独自の交通など、よりきめ細やかで効率的な地域交通を考えて行きます。

問 甲賀病院へのバスについての検討は。

答 平成26年に2カ月間、JR3駅と甲賀病院を結ぶ実証運行をした結果、厳しい状況だと判断したため断念。今後はまちづくり協議会の皆さんに甲賀病院までの交通便利事業をしてもらえるよう提案していきます。

問 地域福祉懇談会でも移動手段の課題が多かったが、福祉の観点からの見解は。

答 高齢者に自家用車を維持しにくいことから、

別の移動手段を考える必要がある、その中でデマンド交通は有効な手段の一つです。

問 大谷地先T字路の信号設置の必要性についての見解は。

答 15年間、県への要望をしてきましたが、引き続き要望を続けていきます。

問 通学路として現時点でできる安全対策はありますか。

答 日枝山手台の区画整理事業に伴う交通量の増加も見込まれることから、啓発看板の設置なども検討してまいります。



大谷地先T字路

